



ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会 委員長  
田上 富久

2015 第 19 回長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された皆さまに心からお祝いを申し上げます。

長崎には、1571 年のポルトガル船の入港以来、重層的な歴史が今にもたらした、たくさんの資産があります。それらは、昨年世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」や、登録に向け取り組みが続けられている「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」として、また「くんち」や「卓袱料理」など有形、無形の資産として、現代のまちのあちこちに散在し、評価され、長崎の魅力を作り出しています。今回、受賞された皆さまの取り組みは、このような過去からの歴史のつながりを今に伝えることに加え、今の長崎に新しい息吹をもたらすようなものばかりです。長崎にとっては、まちそのものが大切な資源であり、そのよさをまちの外の人に感じてもらい、まちの中の人にも再認識してもらうために、長崎市では、まち歩きを大きな柱として取り組んできました。さらに、今年 1 月には、訪日外国人旅行者を地方へ誘客するモデルケースとして国が進める「観光立国ショーケース」に全国 3 都市の内の 1 つとして選ばれ、今後、国と一体となって、外国人旅行者に選ばれる都市づくりを進めていきます。

まちは、様々なピースがつながりあって一つの景観を作り出しています。市民の皆さまが愛し、国内外から訪れるお客さまに魅力的だと思ってもらえるような景観を生み出すためには、そのピースの一つ一つとなる、市民の皆さまの手による取り組みを進めていただくことが不可欠で、このことは、とても大きな価値を持つものだと考えています。

よりよい景観づくりの取り組みを顕彰するため、官民協働により歩みを続けてきた長崎市都市景観賞も回を重ね今回で 19 回目を迎えます。本賞が今後とも市民の皆さまに親しまれ、長崎の都市文化向上のための一翼を担うことを祈念しますとともに、本賞の実施にあたり、後援、協賛をいただきました企業・団体の皆さま、選考委員の皆さま、関係各位の皆さまのご尽力に、深く感謝申し上げます。



長崎商工会議所 会頭  
上田 恵三

2015 第 19 回長崎市都市景観賞を受賞されました皆さま、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この長崎市都市景観賞は、長崎らしいまちづくりを進めるため、周囲の街並みや雰囲気と調和した建築物や取り組みなど、長崎の歴史的背景と地理的特色を活かした特徴ある都市景観の形成に寄与しているものに対して贈られるもので、19 回目を迎えることとなりました。今回は、前回は大きく上回る 263 件の応募がある中、都市景観賞 6 件と奨励賞 3 件が受賞されました。いずれも国際観光都市長崎のまちづくりに相応しく、長崎らしい景観に寄与するものばかりであると存じます。

長崎市都市景観賞は、景観はもちろんのこと、長崎の観光資源の掘り起こしや、これまでに培われた歴史、文化などを改めて見直す契機となっており、おもてなしの心でお迎えするなどのソフト面と両立した長崎らしく、かつ、調和のとれたまちづくりを促進するうえで重要な役割を担うものであります。長崎市では、世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」及び、登録候補である「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」による観光増に併せて、国際クルーズ船の寄港数が増加するなど、沢山の方が観光に訪れており、今後、さらなる伸長が予想されています。また、秋には長崎県下で「ねんりんピック」が開催されることとなり、日本中から参加者や関係者の方が訪問されることとなります。景観はその地域の顔であり、より魅力ある街であり続けるためには、大きなテーマとして捉え、歴史的かつ地域の特色と親和性を持った景観を創造するため、長崎市民が軌を一にして、取り組むことが重要であると考えます。

長崎市都市景観賞が、今後とも景観に対する市民の皆さまのご理解や関心を高め、良好な都市景観形成の促進に寄与するものとなりますことをご祈念申し上げますとともに、今回ご協力いただきました皆さま並びに、本事業の実施にあたってご尽力いただきました関係の皆さま、選考委員の皆さまへ御礼を申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

## 選考を終えて



長崎市都市景観賞選考委員会 座長

### 宮原 和明

2015 第 19 回 長崎市都市景観賞を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げます。

1988 年（昭和 63 年）、長崎市の魅力ある都市景観を守り育てるために、全国でもいち早く「長崎市都市景観条例」が制定されましたが、これに先立ち、1987 年（昭和 62 年）、将来の長崎市の都市景観を誘導するような良質な建築を奨励するために創設されたのが「長崎市都市景観建築賞（現・長崎市都市景観賞）」です。2005 年（平成 17 年）には、都市、農山漁村等における良好な景観の形成を図るための「景観法」が施行されました。また、市域は 2006 年（平成 18 年）までに、野母崎、三和、香焼、高島、伊王島、外海、琴海の 7 カ町と合併し、産炭地である端島や池島、そして大村湾を望む歴史と自然豊かな地域を含む都市へと広がり、市民の景観価値に対する意識と景観行政への関心は高まっています。このような背景の中で今回の長崎市都市景観賞では、大きな建物部門として「ガーデンテラス長崎 ホテル & リゾート」が選ばれました。この建物群は、対岸の借景を取り込んだ良質な空間づくりと経年による修景が功を奏し、景観に寄与していることが評価されたものです。また、小さな建物部門「野島歯科醫院」は、歴史ある本古川町にふさわしいひときわ静かな佇まいを持つ空間設計が評価されました。歴史のある部門「鎮西大社 諏訪神社」は、鎮守の森や社殿、階段などの建造物と秋の大祭「長崎くんち」が一体として歴史的な景観資産であると評価されました。今回から新たに創設された公共施設部門は「女神大橋」で、斜張橋の構造美と大型客船が入港するときの大景観への寄与とライトアップが評価されたものです。こちらにも新設された屋外広告物部門は、「つりがね堂薬局サイン」で、釣り鐘とプロペラの何とも不思議な組み合わせによるインパクトが評価されました。テーマ部門は、「浦上天主堂再現プロジェクト」で、被爆 70 周年の節目にこの取り組みを実現させた市民の力が評価されました。また、奨励賞については、屋外広告物部門から 2 作品が選ばれ、「コクラヤ ネオンアーチサイン」は、独特のアイコンが長年市民に親しまれた点が、「中の家旗店サイン」は、斬新な建物と暖簾などのサインの見事なマッチングが評価されました。テーマ部門は「ししとき川通り」で、歴史ある三角溝を活かす公共空間の整備や緑化などの住民による取り組みが町並みを磨き続け、確実に通り風景の魅力が向上していることが評価されたものです。今後は、これまで顕彰された都市景観賞のストックを活かし、市民を巻き込んだ官民協働の学びあいの場を通して、建物や町並み、自然景観に対する若い世代の目利きを育てることも重要と考えます。最後に、今回の選考に携わって下さった選考委員の皆さまにお礼を申し上げますと共に、長崎市都市景観賞が今後ますます発展することを願っております。

## [選考委員会]

座長

宮原 和明

長崎総合科学大学 環境・建築学部 名誉教授 | 建築 |

委員

有馬 一郎

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 会長 | 建築 |

尾崎 光輝

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 副支部長 | 宅地建物 |

五島 聖子

長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科環境科学領域 教授 | 造園 |

小林 純一

長崎県電気工事業工業組合長崎支部 副支部長 | 電気 |

高尾 忠志

九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 准教授 | 土木 |

田中 繁則

長崎県屋外広告美術協同組合 理事 | 屋外広告物 |

鉄川 進

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 理事 | 建築 |

山崎 加代子

design hehe 代表 | デザイン |

吉川 國夫

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 技術委員会副委員長 | 測量設計 |



## 大きな建物部門 ガーデンテラス長崎 ホテル&リゾート



[選考理由 | 有馬 一郎]

ここは、稲佐山中腹に位置する、ホテル・結婚式場・レストランを備えた施設であり、設計者は世界的に有名な隈研吾氏である。建築は、全体的に木で造られたかのような外観であり、過去に何度も長崎市都市景観賞の選考対象とされてきた。建築物単体としては、デザイン性の素晴らしさゆえに他団体の著名な賞を数多く受賞している。今回の受賞理由としての大きな要因は、杉の外装壁が程よい色具合で落ち着き、景観としても十分に馴染んでいる点と、敷地全体がゆるやかな斜面となっているその眼下に、長崎水辺の森公園や東山手・南山手を含む長崎港全体を一望に見渡すことができる点であった。敷地全体がゆったりとした配置計画となっており、各棟には木を基準とした個性的なデザインも施されており、全体として良い環境づくりがなされている。新館のロイヤルテラス棟が完成し、ひとまず全体的に完了しているという点において、一区切りついたのではないかと各委員の評価であった。

所在地/長崎市秋月町 2-3  
 用途/ホテル  
 構造/グランドテラス棟：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造  
           ロイヤルテラス棟：鉄骨造、鉄筋コンクリート造  
 規模/グランドテラス棟：地上 4 階、地下 1 階  
           ロイヤルテラス棟：地上 5 階  
 延床面積/グランドテラス棟：5,708.95 ㎡  
           ロイヤルテラス棟：1,664.21 ㎡  
 建築年/グランドテラス棟：2009 年（平成 21 年）  
           ロイヤルテラス棟：2014 年（平成 26 年）

[所有者]

株式会社 メモリード  
 長崎県西彼杵郡長与町高田郷 1785-10

[設計者]

株式会社 隈研吾建築都市設計事務所  
 東京都港区南青山 2-24-8 BY-CUBE

[施工者]

清水建設株式会社  
 東京都中央区京橋 2-16-1





小さな建物部門  
野島歯科醫院



[選考理由 | 山崎 加代子]

古い歴史を持つ本古川町に、ひとさわやかな佇まいを持つ空間がある。左側の住居と右側の医院は一見、一体化して見えるが、その間には昔ながらの路地があり風が通り抜け、奥には白い漆喰の土蔵が見える。懐かしい風景だ。「生活の中の揺らぎ」と「本物の素材と昔ながらの工法」に徹底してこだわったと言う野島氏。四季折々、光と陰が刻々と変化の中で家の持つ表情も違ってくる、その「揺らぎ」を大切にしたいと。例えば壁。建物全ての塗壁はコテ跡がそれぞれに味を持つ。2階は全て住居だが、窓を開けても外からは見えにくい木製ルーバーを取り付けプライベートな生活は守られている。入口左手の石積壁は、外海の古い民家に使われていた石を有効利用した。患者は本物の土蔵を目の当りにしながら治療を受ける。きっと心も落ち着くことだろう。朽ちかけていた土蔵は1年かけて完全に修復。伝統的な工法に則り忠実に作る職人たちの仕事は、厳しくかつ美しかった。木・土・砂・漆喰・藁・竹という自然そのものを活かした土蔵を懐に抱え、ここはこの町で、時と共に心地よい息をし更に佇まいを深めていくのだろう。

所在地/長崎市古川町6-27  
用途/歯科医院兼住宅  
構造/鉄筋コンクリート造  
規模/地上2階  
延床面積/293.11㎡  
建築年/2013年(平成25年)  
中島川・寺町地区景観形成重点地区

[所有者]

医療法人光洋会 野島歯科醫院

野島 洋

長崎市古川町6-27

[設計者]

工房吉岡

長崎市西山4-382-1

[施工者]

株式会社 山口工務店

長崎市出島町4-4







歴史のある部門  
**鎮西大社 諏訪神社**



[選考理由 | 五島 聖子]

「鎮西大社 諏訪神社」と称えられる長崎の総氏神様。もともと長崎市内に祀られていたものが焼失し、1625年（寛永2年）に初代宮司青木賢清によって現在の松森神社の地に再興され、1651年（慶安4年）、現在地に鎮西無比の荘厳な社殿が造営された。1857年（安政4年）に火災に遭い、社殿のほとんどを焼失したが、孝明天皇の思召しにより1869年（明治2年）に社殿が再建され、さらに1984年（昭和59年）と1994年（平成6年）の二度の造営によって現在の社殿が完成された。日本三大祭の一つに数えられ、国の重要無形民俗文化財に指定されている「長崎くんち」は、「諏訪神社」の祭礼である。この「諏訪神社」に祀られている三社の神体が、大波止に設けられた御旅所に下り、そして再び本宮に上るといふ神事である。その神体が下る73段の長坂は、「長崎くんち」のハイライトであり正に長崎を代表する景観であろう。

所在地／長崎市上西山町 18-15  
用途／宗教法人施設  
境内面積／29,116 m<sup>2</sup>

[所有者]  
宗教法人 諏訪神社  
長崎市上西山町 18-15





## 公共施設部門 女神大橋



[選考理由 | 吉川 國夫]

「女神大橋」は、2005年（平成17年）12月11日に開通した日本国内で6番目の長さの斜張橋（中央径間長480m）で、径間長300m～500mのなかで美観を考慮した際に採用される橋種である。

長崎港は昔から海外交流や日本近代化の歴史を彩る国際貿易港として栄えてきた。かつ出島や小管修繕場などの文化的資源を備え、産業や旅客、造船を支える港湾施設として機能美と存在感を併せ持っている。「女神大橋」はそれらを受け継ぎ、斜張橋とすることで、大型旅客船の通行を可能とする桁下高65mを確保している。これは、瀬戸大橋や明石海峡大橋と同じである。また、斜張橋は桁高を小さくすることが可能で、長崎港口の強風に対して航空機の翼をイメージしたフェアリング付逆台形箱桁を採用し、空気抵抗を減じている。最先端技術の結集により女神が翼を広げた気品にあふれた優美な景観として醸成された「女神大橋」は、ライトアップすることで新たな長崎の夜景スポットとなった。これからの長崎市を代表する公共施設部門の景観として高評価を得たものである。

所在地／長崎市木鉢町から戸町  
用途／橋梁  
形式／3径間連続鋼斜張橋  
延長／1,289m  
（主橋梁880m＋取付高架橋409m）  
完成年／2005年（平成17年）

[所有者]

長崎県

長崎市江戸町2-13

長崎県道路公社

長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル5階

[設計者]

株式会社 日本構造橋梁研究所

東京都千代田区岩本町3-8-15 FGEX 岩本町ビル2F

[施工者]

エム・エムブリッジ株式会社

広島県広島市西区観音新町1-20-24

佐世保重工業株式会社

長崎県佐世保市立神町1

株式会社 大島造船所

長崎県西海市大島町1605-1





屋外広告物部門  
つりがね堂薬局サイン



[選考理由 | 田中 繁則]

釣鐘とプロペラ、なんとも不思議な組み合わせである。しかもこれが薬局の看板として強力なインパクトを与えているのは何だろう。今回の屋外広告物部門として応募された48点の中でも、ひととき異彩を放っていた。昭和初期に制作された初代の釣鐘は銅板製で、現在のものは二代目に当たるとのこと。釣鐘の形状は普通のものであるが、看板の為に制作されたことは、その彫刻された文字「効き目で鳴り響くつりがね堂の虫くだし」他でも確認できる。「つりがね堂」という店名があってそれを忠実に具体化した看板屋の腕前は見事なものである。その下のプロペラは何？聞くとところによると薬局が戦闘機を寄付したお礼にもらったとのこと。相当古いものである。プロペラ自体は薬と関係なくとも十分な宣伝効果を発揮している。1910年(明治43年)創業というから戦禍も生き抜いて、今や中華街の建物と並んで新地町のランドマークと言えよう。IT化する時代の先端を行く広告業界の若いクリエイター達が、100年後の看板を見据えたものづくりができるか。発奮を促す作品でもある。

所在地／長崎市新地町11-11  
構造・材質／釣鐘サイン：FRP  
プロペラ：木材  
完成年／1990年(平成2年)  
館内・新地地区景観形成重点地区

[所有者]  
有限会社 つりがね堂薬局  
長崎市新地町11-11







テーマ部門：歴史を語り続ける賞  
**浦上天主堂再現プロジェクト**



[選考理由 | 鉄川 進]

被爆から70周年となる2015年(平成27年)の8月6日と8日の2日間にわたって行われた、長崎の被爆3世の若者らによる、原爆で倒壊し再建された浦上天主堂の再現プロジェクトである。旧浦上天主堂は1895年(明治28年)から1925年(大正14年)まで30年にわたり、フレノ神父らによって建設された木骨煉瓦造一部鉄筋コンクリート造の聖堂で、当時は東洋一と称された建物である。完成から20年あとの1945年(昭和20年)8月9日に原子爆弾により破壊された。その後1959年(昭和34年)に構造形式が違い鐘塔の高さのみ若干低い、大きさや棟の高さ、デザインとも旧教会とほぼ同じ現在の浦上天主堂が建設され、今に至っている。

当日はこの教会と建設にかかわった皆さんについての入念な調査に基づいた歴史が、プロジェクションマッピングの手法を駆使して再現され、集まった多くの市民がこの教会の価値と2度と起こしてはいけない歴史的事実を訴えかけた。短い期間の事業ではあったが、このプロジェクトを企画し実行に移した若者たちの情熱とそれを支えた市民の力は、被爆70年の年を超えてもなお永遠に忘れてはいけない歴史を語り続けるだろう。

実施場所／長崎市本尾町1-79 カトリック浦上教会  
 平和公園地区景観形成重点地区

[主催者]  
 浦上天主堂再現プロジェクト実行委員会





屋外広告物部門  
コクラヤ ネオンアーチサイン



[選考理由 | 山崎 加代子]

「アートの発表の場は無料であるべきだ」と言う当時の代表の高浪藤夫氏の信念は、1958年（昭和33年）開店当時から無料ギャラリー併設の眼鏡専門店として、現在も貫かれている。中通り店→鍛冶屋町店→万屋町店と移転しながらも、コクラヤギャラリーは長崎の文化の発信地として多くの人に愛され続けてきた。高浪氏はアイデアマンだった。「ゆるキャラ」の名付け親はみうらじゅん氏だが、半世紀も前に、長崎の1キャラクターを市民に広く知らしめたのは、この「コクラ君」そのものではなかったか。蝶ネクタイで紳士の雰囲気を持つ高浪氏をシンボリックに描いた「コクラ君」は広告塔となる。1975年（昭和50年）万屋町移転時に「眼鏡橋型アーチサイン」は通りをまたいで架けられた。夜にネオン瞬くサインは昭和レトロが新鮮に見える若い世代にも評判がいい。数年前に、ししとき川の「裏めがね橋」が取り壊されたのは残念だったが、万屋町の「コクラ君」は、橋の下を通る人たちをやさしい眼で眺めている。ここは長崎の町の風物詩でもある。人は文化を生みだし、時を経てその地の景観をつくっていく。

所在地／長崎市万屋町 1-26  
構造・材質／鉄骨造  
完成年／1975年（昭和50年）

[所有者]  
株式会社 コクラヤ眼鏡店  
長崎市万屋町 1-26

[施工者]  
株式会社 総合企画  
長崎市元船町 12-1 タカラビル 4F



## 屋外広告物部門 中の家旗店サイン



[選考理由 | 田中 繁則]

1921年(大正10年)創業の鍛冶屋町の老舗旗店で、斬新な建物と暖簾の見事なまでのマッチングである。「紺屋の白袴」という諺があるが、これを逆手に取って、自社の商品を店の入口に堂々と掲げ、看板としてもすばらしいレイアウトとなっている。

通常、暖簾は古い街並み、古い店舗によく似合うし用いられる。ところが「中の家旗店」の場合、近代的なステンレス枠とガラスのシンプルな建物に、たった1本の暖簾で立派な役目を果たしている。もちろんこの暖簾を引き立たせるため、店舗全体の演出が程よくコーディネートされている。透明のガラス越しにディスプレイされたカラフルな商品、前庭に遠慮がちに配置された植栽、スマートな置き看板、そして軒上のNAKANOYAのチャンネル文字看板。看板の為の看板というより、商品の力で歩行者を思わず引き込ませるような楽しい魅力ある店であり、看板群である。

所在地/長崎市鍛冶屋町1-11

構造・材質/暖簾:麻

チャンネル文字:ステンレス焼付塗装(中の家旗店)  
:アクリルLED内照式(NAKANOYA)

スタンド看板:スチール焼付塗装(フレーム)、アクリル(表示面)  
:スチール(フレーム)、アルミ複合板シート(表示面)

完成年/2005年(平成17年)

[所有者・設計者]

株式会社 中の家旗店

長崎市鍛冶屋町1-11

[施工者]

株式会社 松匠

長崎市平瀬町90-2





## テーマ部門：官民協働によるまちづくり賞 ししとき川通り



[選考理由 | 高尾 忠志]

長崎の景観にとって「通りの風景」は主要な構成要素であり、その向上は「人」を中心に据えた「人間都市」を目指す長崎にとって重要な課題である。「通り」は公共が管理する道路等と民有の建築物等によって構成されており、さらに人々の営みが折り重なって風景となっていく。したがって、その質の向上には「官民の協働」が欠かせない。「ししとき川通り」は、長崎市により通りの歴史性に配慮した道路改修が行われ、それを良い契機として沿線に魅力的な出店が続いており、加えて地域住民による活動や植栽が彩りを添えて、確実に風景の魅力が向上してきている。地域住民の暮らしや活動が風景をつくり、それを支える基盤を公共側が丁寧につくるプロセスはまちづくりの好例として高く評価された。選考委員会では、こうしたまちづくりが今後ますます充実してくること、長崎のまち全体に展開していくことを願って、満場一致での奨励賞受賞となった。

所在地／長崎市古川町から鍛冶屋町  
延 長／175m  
中島川・寺町地区景観形成重点地区

[代表者]

磨屋地区自治団体連合会

[施工者]

あいこ建設有限会社

長崎市宝町 4-30

株式会社 西海興業

長崎市平和町 5-19

有限会社 矢野設備工業所

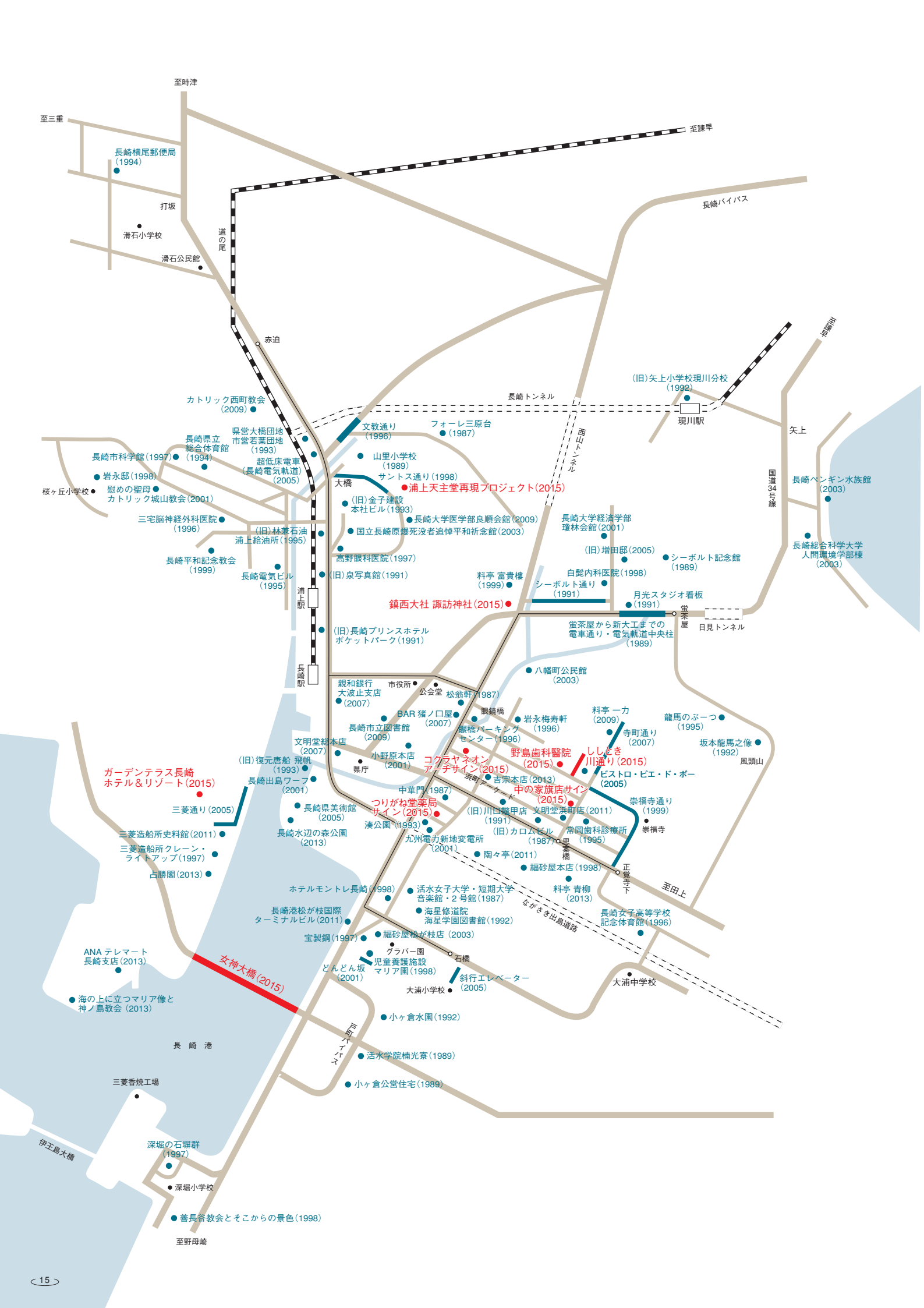
長崎市大浦東町 1-21



## 長崎市都市景観賞表彰作品一覧 | MAP

年度	種別	作品名	所在地
1987 第1回 昭和62年度 [5件]	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号
		(旧) カロムビル	浜町3番19号
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号
		松翁軒	魚の町3番19号
		中華門	新地町
1989 第2回 平成元年度 [5件]	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号
		蛍茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目
		山里小学校	橋口町20番56号
1991 第3回 平成3年度 [5件]	都市景観賞	(旧) 川口鼈甲店	浜町7番13号
		シーボルト通り	新大工町
	奨励賞	(旧) 長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号
		(旧) 泉写真館	川口町6番24号
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号
1992 第4回 平成4年度 [4件]	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号
		(旧) 矢上小学校現川分校	現川町1912番地
		小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号
	奨励賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)
1993 第5回 平成5年度 [4件]	都市景観賞	(旧) 金子建設本社ビル	松山町9番18号
		湊公園	新地町7番
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
	奨励賞	(旧) 復元唐船 飛帆	—
1994 第6回 平成6年度 [2件]	奨励賞	長崎県立総合体育館	油木町7番1号
		長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号
1995 第7回 平成7年度 [4件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎電気ビル	城山町3番19号
		[歴史のある部門] 常岡歯科診療所	油屋町2番18号
		[テーマ部門: 歴史ロマン賞] 龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番
	奨励賞	[小さな建物部門] (旧) 林兼石油浦上給油所	松山町4番41号
1996 第8回 平成8年度 [5件]	都市景観賞	[小さな建物部門] 三宅脳神経外科医院	若草町3番21号
		[歴史のある部門] 岩永梅寿軒	諏訪町7番1号
		[テーマ部門: 建築エコアップ賞] 賑町パーキングセンター	栄町5番5号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] 文教通り	文教町、大橋町
1997 第9回 平成9年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市科学館	油木町7番2号
		[歴史のある部門] 深堀の石堀群	深堀地区
		[歴史のある部門] 宝製綱	小曾根町1番39号
	奨励賞	[小さな建物部門] 高野眼科医院	平野町10番3号
		[テーマ部門: ベイサイドシンボル賞] 三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	飽の浦町1番1号
1998 第10回 平成10年度 [7件]	都市景観賞	[歴史のある部門] 福砂屋本店	船大工町3番1号
		[歴史のある部門] 児童養護施設マリア園	南山手町12番17号
	奨励賞	[大きな建物部門] ホテルモンテ長崎	大浦町1番22号
		[小さな建物部門] 岩永邸	小江原4丁目18番3号
		[小さな建物部門] 白髭内科医院	片淵1丁目35番18号
		[テーマ部門: 四季プロムナード賞] サントス通り	上野町、橋口町、岡町
		[テーマ部門: 自然賞] 善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長

年度	種別	作品名	所在地
1999 第11回 平成11年度 [3件]	都市景観賞	[小さな建物部門] 長崎平和記念教会	富士見町21番14号
		[歴史のある部門] 料亭 富貴樓	上西山町5番4号
	奨励賞	[テーマ部門: プロムナード賞] 崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町
2001 第12回 平成13年度 [6件]	都市景観賞	[歴史のある部門] 小野原本店	築町3番23号
		[歴史のある部門] 長崎大学経済学部瓊林会館	片淵4丁目2番1号
		[テーマ部門: さかみち部門] どんどん坂	南山手町
	奨励賞	[大きな建物部門] 慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号
		[大きな建物部門] 九州電力新地変電所	新地町6番10号
[大きな建物部門] 長崎出島ワープ	出島町1番1号		
2003 第13回 平成15年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号
		[テーマ部門: 建築リニューアル賞] 長崎総合科学大学人間環境学部棟	宿町3番地1
		[テーマ部門: 街角ディスプレイ賞] 福砂屋松が枝店	松が枝町2番43号
	奨励賞	[大きな建物部門] 長崎ペンギン水族館	宿町3番地16
		[小さな建物部門] 八幡町公民館	八幡町3番9号
2005 第14回 平成17年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎県美術館	出島町2番1号
		[小さな建物部門] ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号
		[歴史のある部門] (旧) 増田邸	片淵2丁目18番18号
	奨励賞	[大きな建物部門] 斜行エレベーター	上田町、相生町
		[テーマ部門: 動く風景賞] 超低床電車	—
[テーマ部門: 赤煉瓦塀のあるプロムナード賞] 三菱通り	飽の浦町1番1号		
2007 第15回 平成19年度 [4件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 親和銀行大波止支店	五島町4番16号
		[小さな建物部門] BAR 猪ノ口屋	栄町4番11号
		[歴史のある部門] 文明堂総本店	江戸町1番1号
		[テーマ部門: 鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞] 寺町通り	寺町
2009 第16回 平成21年度 [5件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎市立図書館	興善町1番1号
		[小さな建物部門] 長崎大学医学部良順会館	坂本1丁目12番4号
		[歴史のある部門] 料亭 一力	諏訪町8番20号
		[テーマ部門: 四季折々の表情が美しい田園景観賞] 大中尾棚田	神浦下大中尾町
	奨励賞	[大きな建物部門] カトリック西町教会	音無町9番34号
2011 第17回 平成23年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] 長崎港松が枝国際ターミナルビル	松が枝町7番16号
		[歴史のある部門] 三菱重工業長崎造船所史料館	飽の浦町1番1号
		[テーマ部門: 伝統ある植木業が創り上げた文化的景観賞] 古賀植木の里	松原町
	奨励賞	[小さな建物部門] 文明堂総本店浜町店	浜町8番27号
		[歴史のある部門] 陶々亭	十人町9番4号
[テーマ部門: 地域の誇りは四季の花に囲まれた風景賞] 琴海戸根川と桜	琴海戸根町		
2013 第18回 平成25年度 [6件]	都市景観賞	[大きな建物部門] ANA テレマート長崎支店	神ノ島町1丁目331番90号
		[歴史のある部門] 占勝閣	飽の浦町1番1号
		[歴史のある部門] 料亭 青柳	丸山町7番21号
	奨励賞	[テーマ部門: 市民の憩う水辺の公園賞] 長崎水辺の森公園	常盤町
		[歴史のある部門] 吉宗本店	浜町8番9号
[テーマ部門: 長崎の海を見守りつづける賞] 海の上に立つマリア像と神ノ島教会	神ノ島町2丁目148番		









長崎市都市景観賞は、自然環境を活かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練されたまちづくりに寄与する建築物などに贈られる賞です。

このトロフィーのフォルムは「炎」であり、都市景観賞が、私たちの愛する長崎の文化を守り育てるための「灯り」となることを願ったものです。また、ガラスに封印されたコバルトブルーは、大航海時代から続いている「開港都市としての長崎」を象徴する海の色を表現しています。



#### 長崎市都市景観賞 Symbolmark

3個の楕円は「海」と「まち」と「空」。自然と人間の営みがそれぞれに呼応しながら、長崎市の都市景観が未来へ向けて広がり高まっていくさまを、シンプルなフォルムで表現しています。

[表彰実行委員会]

委員長

田上 富久 | 長崎市長 |

副委員長

森岡 公隆 | 長崎商工会議所 副会頭 |

委員

有馬 一郎 | 公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会 会長 |

岩永 堅之進 | 長崎市管工業協同組合 理事長 |

川島 邦元 | 一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部 副支部長 |

田中 繁則 | 長崎県屋外広告美術協同組合 理事 |

寺田 浩一 | 長崎県電気工事業工業組合長崎支部 支部長 |

中村 知也 | 一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部 支部長 |

西野 廣幸 | 一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部 副支部長 |

松本 伸久 | 公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部 支部長 |

村瀬 廣記 | 西部ガス株式会社長崎支社 常務執行役員長崎支社長 |

森重 孝志 | 一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会 会長 |

山口 雅二 | 長崎商工会議所建設部会 部会長 |

吉田 安秀 | 長崎市都市計画部長 |

監事

松永 安市 | 長崎商工会議所 専務理事 |

藤本 陽一郎 | 長崎商工会議所青年部 会長 |

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

一般社団法人 長崎県建設業協会長崎支部

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会

西部ガス株式会社長崎支社

一般社団法人 長崎県建築士会長崎支部

長崎市管工業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

一般社団法人 長崎県測量設計コンサルタンツ協会

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会長崎支部

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部

長崎県屋外広告美術協同組合

[後援]

NHK 長崎放送局

NBC 長崎放送

KTN テレビ長崎

NCC 長崎文化放送

NIB 長崎国際テレビ

NCM 長崎ケーブルメディア

エフエム長崎

長崎新聞社

ながさきプレス

みらい長崎ココウォーク

(株) V・ファーレン長崎

[協賛]

アイティーエックス (株)

朝日スチール工業 (株) 九州支店

イサム塗料 (株) 福岡支店

(有) 内野塗料店

ANA テレマート (株) 長崎支店

エスケー化研 (株) 長崎営業所

鹿島建設 (株) 長崎営業所

(株) カステラ本家 福砂屋

(株) 霜田塗料産業

(株) ジュリアン企画

スズカファイン (株) 九州支店

(株) 住軽日軽エンジニアリング九州支店

台湾料理 老李

(株) 谷川建設

陶々亭

TOTO (株) 長崎営業所

トーク

長崎サンセットマリーナ (株)

長崎自動車 (株)

(株) 長崎スカイホテル

長崎電気軌道 (株)

長崎塗料商業会

(株) 鍋順

(株) ニシイ長崎営業所

日本乾溜工業 (株) 長崎支店

日本ペイント (株) 九州支店

(一社) 日本塗装工業会長崎県支部

文化シャッターサービス (株) 長崎 SS

(株) 文明堂総本店

(株) MARUWA SHOMEI

L' ALA VISTA 長崎和食 及びす屋

(株) LIXIL 九州支社長崎支店

菱重ファッション & プロパティーズ (株) 西日本支社

